

第 2 回 海田町上下水道事業経営審議会 議事録

日 時：令和 7 年 1 月 10 日（金） 10:00～11:00

場 所：海田町役場 3 階大会議室

1 開会

会長が開会を宣言した。

2 議事

(1) 第 1 号議案 諮問事項 海田町下水道事業経営戦略の改定について

現在改定中の海田町下水道事業経営戦略の案について，事務局が説明を行った。

【意見等】

委 員	汚水の処理場の設置主体はどこか。また，その経費はどのように算出されているのか。
事 務 局	広島県が広島市南区に設置している東部浄化センターで汚水処理を行っている。経費については指示額で，関連市町の使用流量により按分して支払っている。
会 長	新規汚水整備は延長何キロの見込みか。
事 務 局	約 800 メートル整備する予定である。
委 員	流動比率が悪いとあるが，下水道使用料の未収金があり滞納者がかなりいるのではないか。
事 務 局	料金回収率は 99%を超えており高い水準となっている。
会 長	供用開始から 36 年だが，令和 16 年度から汚水管きよの改築更新が発生することが読み取れる。今の経営状況は悪くないが，令和 10 年度以降に改築更新の支出が増えてくるため，今後経営戦略の見直しが必要であるということを改めて述べさせてもらいたい。 また，流域下水道の負担金は上昇傾向にあるのか。
事 務 局	負担金は上昇傾向にある。
会 長	広島県も独立会計で運営しているため，必要経費を請求されているということだと思う。
会 長	それでは，海田町下水道事業経営戦略を承認することでもいいか。
委 員	異議なし。

(2) 第2号議案 諮問事項 海田町水道ビジョンの改定について

現在改定中の海田町水道ビジョンの案などについて、事務局が説明を行った。

【意見等】

会 長	<p>パブリックコメントで意見が出ないのは珍しいことではない。ホームページの閲覧があったことはよかった。</p> <p>下水道と水道では、それぞれ別々に会計、経営している。下水は10年間大丈夫、水道は少しずつ経営が厳しくなる。置かれている実情が違う。</p> <p>有機フッ素化合物は、水道水質基準に加わることが想定されるので、追加で水道ビジョンに反映する時期は適切であると考え。また、寒波時の対応は使用者に有益で、良い取組である。</p>
委 員	<p>財政計画に関して、単年度で赤字となることは、海田町民としても良くないことであり、その場合は料金改定の検討を行うという方針となっていたか。</p>
会 長	<p>令和9年度ごろから資金が厳しくなっていることを第1回の審議会でも示しており、料金を適正化していくことを審議したかと思う。近い将来、料金改定を行う必要があり、改定案を水道使用者に理解してもらって承認してもらうという流れになると考える。</p>
委 員	<p>人口が増加しても、節水対策が進み、料金収入が増加しない面もある。</p>
会 長	<p>今後、水道使用量の多い機器が増えることはないと思うが、町としては水道使用量が増加しないと料金収入が増えないことが非常に難しいポイントである。また、施設の老朽化に伴い更新や耐震化が必要となるが、物価や人件費の上昇にも対応していくことが求められる。独立採算制である水道事業では、水道料金として資金を確保していくことを丁寧に説明して理解してもらうことが必要である。</p>
委 員	<p>危機管理に関して、災害時に個人で所有する井戸を共用するなどの方策はあるか。</p>
事 務 局	<p>国信浄水場や蟹原浄水場が使用できない場合は、砂走ポンプ所の井戸を災害時の給水拠点と位置付けている。民間の井戸は他の部署が担当している。</p>
会 長	<p>災害時の対応は非常に重要なことであり、他の自治体では災害時用の井戸を整備しているところや、企業で所有している井戸を使用してもらう災害時の協定を結んでいる事例もある。個人で所有する井戸に関しては、個人情報の扱いもあるので、難しい面もあると考える。</p>
委 員	<p>公衆衛生協議会で井戸プロジェクトを立ち上げている。</p>
会 長	<p>地域の水資源をどう使うか、うまく連携しながら今後は検討することも重要なポイントであると思う。</p>
会 長	<p>それでは、海田町水道ビジョンを承認することでいいか。</p>
委 員	<p>異議なし。</p>

3 閉会・事務局あいさつ

会長が閉会を宣言し，事務局があいさつを行った。